

# 民見協だより

2019年  
12月15日  
No.67



人間市民生委員・児童委員協議会  
人間市豊岡1丁目16番1号 人間市役所福祉総務課 TEL2964-1111

会長 白井 秀

## 主な内容

- ◆ご存じですか？  
「民生委員・児童委員」
- ◆民生委員各地区の紹介
- ◆編集後記

## ご存じですか？ 地域の身近な相談相手 「民生委員・児童委員」

2019年12月1日より  
再任・新任の「民生委員・児童委員」が活動を開始しました。地域の身近な相談相手として、必要な支援を行っている「民生委員・児童委員」について知って頂き、活動へのご理解とご協力をお願いします。

### 《民生委員・児童委員とは？》

担当地区に住んでいる方々の情報を可能な範囲で把握します。核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっていく今日、子育てや介護の悩みを抱えている方、障害のある方、高齢者の方等の身近な相談相手となり、必要な場合は行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。



### 《どうやって選ばれるの？》

住民の中から、その地域の実情をよく知っている人を、自治会などで推薦。



民生委員・児童委員のマーク

幸せのシンボルである四つ葉のクローバーの中に、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組合せ、平和のシンボルの鳩をかたどって愛情と奉仕を表しています。

市の民生委員推薦会・都道府県知事の推薦を得て、最終的には厚生労働大臣によって委嘱されます。

### 《身分、報酬など》

特別職の地方公務員（非常勤）ですがボランティアとして活動するため給与はありません。ただし必要な交通費、通信費・研修参加費などの活動費（定額）は支給されます。任期は3年で再任も可能。定年は75歳ですが特例で78歳まで延長できます。

また活動上知り得た情報については守秘義務が課せられ、これは委員退任後も引き続き課せられます。

## 人間市各地区の活動紹介

9地区の活動を紹介します（順不同）  
以下「民生委員・児童委員協議会」を「民見協」と略します。

### 金子地区

人間市の西部に位置し、北には加治丘陵、霞川を挟んだ南には狭山茶で知られる茶畑が広がり、自然豊かな地域です。当地区では、長年住んでいる人が多く、また小・中学校は各1校しかないの、小さい時からの顔馴染みの人が多い。近年高齢化が進み、共助の必要性が叫ばれています。昔から「向こう3軒両隣り」の、助け合いの関係が受け継がれています。当地区は民生委員・児童委員

が17名、主任児童委員が2名の計19名で活動しています。

日頃の見守りの他に、近隣助け合い活動も盛んに行われているので紹介します。高齢化が進み、民生委員だけでは地域の見守りは出来ません。そこで自治会・老人会（長寿会）・ボランティア・母子愛育・民生委員が連携して、平成12年に「近隣助け合い活動推進会」が発足しました。共に協力して情報収集・意見交換し、関係機関への橋渡しに貢献しています。

毎年11月に行われる金子地区文化祭では、地域の方々から提供して頂いた品物でバザーを行っています。

仕分けや値付けなど準備は大変ですが毎年楽しみに来て下さる方も多く好評です。

売上金は地域の敬老会の補助、配食の食材費補助等に使われています。また長寿会の憩いの家に座るのが困難な方々のために、丈の低い椅子なども寄付しています。



**東金子地区**

東金子地区民児協は民生委員児童委員25名、主任児童委員2名の27名で活動しております。民児協の各委員は担当する地域あるいは直接担当する住民の方との個々の活動が中心です。

加えて民児協全体としても様々な活動をしております。例えばボランティアさんの協力により、毎月一人暮らし高齢者へのお弁当の配食を行なっています。また包括支援センターとの情報交換、区長さんとの懇談会等、関係諸団体との緊密な連携も図っております。スキルアップのための視察や研修を行なっているの言うまでもありません。

現在、少子高齢化が急速に進んでいます。特に東金子は市内で最も高齢化率の高い地域になってしまいました。そのような状況を踏まえ、住民同士が支え合うことの重要性がますます求めら



れていることは間違いありません。そんな観点から3年前より『近隣助け

合い活動』を推し進めて来ました。協力

団体である区長会・老人会・ボランティア・地域包括支援センターと協力し、一人暮らし高齢者の皆さんをお招きした会食会、茶話会等を開催しております。落語家さんを招いたり、地域で活動されている童謡サークルの皆さんにも協力いただき、楽しいひと時を過ごして頂きました。

今後とも地域の方々と連携を深め、誰もが安心して生活できる地域づくりにも少しも役に立つような活動ができればと考えております。

**藤沢第一地区**

藤沢第一地区民児協は、入間市の南東部（上藤沢・下藤沢の全域、東藤沢1・3・東町5・7の一部）の地域を担当しています。人口約27000人、約12000世帯の人口増の傾向の中で、民生委員児童委員・主任児童委員合わせて36名で日々、活動しています。

**「情報交換・事例研究」**

毎月の定例会で、委員数名が自分の担当区域で関わった事例を発表します。事例が、良い・悪いと判断するのではなく、他の委員は自分では気づかなかつた考え方を学び、自分の活動の幅を広げています。

**「要援護者等の緊急連絡先の把握」**

要援護者等の中で、独居世帯・老老世帯の協力を得て、身内への緊急連絡

先の把握に努めています。

**「子どもの見守り活動」**

地区内4小学校の登下校時に、声かけを中心に行っています。また、集団下校時、最後の一人になった児童にも寄り添っています。



**「サロン活動への協力」**

地区内7拠点で、毎月1回地区内の皆さんにお声がけし、健康体操・折り紙・カラオケ・映画鑑賞等、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごしています。

**藤沢第二地区**

藤沢第二地区民児協は、総勢19名で日々活動しています。入間市九圏域で、高

齢化が最も早く進んだ地域であり、三世帯に二世帯が高齢者世帯となっています。

**敬老会（自治会・民児協）**

毎年、敬老の日前後の土曜日に東藤沢公民館で実施します。一圏域での統一敬老会実施は東藤沢地区だけです。

七月から約二ヶ月かけて、民生委員が自分の担当地域の皆様にお声掛けさせて戴きます。



**「ささえあい東藤沢（住民組織）」**

地域の皆様が一人になっても、安心して暮らし続ける事ができるよう、自治会・民児協・社協・地域包括支援センター等が中心となり、「楽しみあう活動」「学びあう活動」「支えあう活動」で令和元年で設立7年になりました。昨年度の支えあう件数は1000件を超え、民生委員も協力・活動しています。

豊岡第二地区

豊岡第二地区民児協の委員の人数は民生委員32名、主任児童委員2名の34名で構成しています。担当する地域は豊岡、東町、向陽台で、入間市駅に近く、入間市役所やジョンソンタウン等があり、商店が多く賑やかな街です。

当民児協は研修に力を入れていきます。定例会で年3回程、経験した事例を話し合い、民生活動と住民支援に役立てていきます。

また実技研修や県外研修も行い、広く知識を得て質の向上に努力してまいります。

入間市や自治会への協力は、敬老祝い金の配布や敬老会の接待をしています。

敬老会への出欠確認の訪問では体調についても伺って来ます。防災訓練の手伝いや万燈祭りへの参加、赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金や寄付も行っています。



小・中学校への協力では、健全育成を目的として、登下校の見守りや夜間のパトロール・朝の挨拶運動に参加し、授業参観や情報交換をして、交通安全や親の虐待・放任等について話し合い、児童生徒の健やかな成長を願っています。

サロンは高齢者の孤立を無くそうという目的で立ち上げ、豊岡第二地区では13のグループが活動しています。内容は歌や踊り、体操、講演会、昼食会などです。豊二民児協の委員の半数以上が登録し、高齢者との親睦を深めています。

住民が生活の事や体の事で困っている等の相談事があれば、民生委員は聞き取りに行き、包括支援センターに連絡を取ります。また、近所の方から情報を頂くこともあり、大変有り難く思っています。

宮寺・二本木地区

配食ボランティアと合同見学会

宮寺・二本木地区民児協は18名（主任児童委員2名含む）の民生委員で活動しています。

近隣助け合い活動の一環として、一人暮らしの高齢者へ月一回、配食ボランティアの方が作ったお弁当を、民生委員が見守りを兼ねて届けています。

昨年両者の間でちよつとした行き違いがあったため、意思疎通を図るため「航空自衛隊入間基地見学会」を実施しました。

参加者は合わせて30名。隊員の案内で基地内の施設をバスで移動しながら見学。お昼は基地内の食堂で、隊員達と同じメニューでの食事をし、貴重な体験をしました。

その後、「修武台記念館」を見学。昭和13年に陸軍航空士官学校が創設された「修武台」の名は昭和16年昭和天皇が命。記念館には貴重な品が展示保管されてきました。



昨年の見学会が好評だったので、今年はず知ろう、という事で「入間市博物館」を見学しました。職員の

分かりやすい解説を聴きながら、「子ども科学室」「人間の自然」「人間の歴史」「茶の世界」の常設展示場を見学し、新しい知識を得る場になりました。

交流の場は敷地内のお店に移動し、お茶を使った料理を味わいながら会話が弾みました。この交流でとても良い心の繋がりが出来ました。日頃、陰で民生委員の活動を支える配食ボランティアの方々に

感謝を伝える場として、合同見学会は今後も大切にしていきたい事業の一つです。

西武地区

西武地区民児協34名は、常に10地区ある担当区域を把握し、住民や一人暮らし老人の見守りを行っています。民生委員活動強化月間よりラジオ体操を5年以上行っている地区もあります。全体の活動としては80歳以上で一人暮らしの希望者に毎月お弁当を届ける配食事業や、毎年秋に行われる地区の敬老会への参加、市から依頼のある高齢者の実態調査等への協力、青少年健全育成会の入間川クリーン作戦の参加もしています。

研修では「県立入間わかきさ高等特別支援学校」を見学し、見聞を広め、毎年、年の県外研修ではバスの中でそれぞれが活動の体験を発表し、それについての意見交換を行いました。



豊岡第三地区

豊岡第三地区民児協は入間市北東部に位置する黒須・高倉地区を担当している民児協です。

当地区は西武池袋線入間市駅に近接しており、区域内には入間川・霞川の両河川や歴史的建造物である寺社仏閣・西洋館が存在し、住環境として恵まれている区域です。

当民児協は会長以下民生

委員・児童委員、主任児童委員計34名で地域福祉向上が図られるよう日々活動しています。

主な活動状況を紹介いたします。

・毎月第二土曜日午後より定例会を開催し、各委員の活動状況の報告、市関係課・社協からの調査依頼、協力依頼等を各委員へ伝達しています。また、各委員の担当区域での問題事例等を出し合っており意見交換しています。

・高齢者の地域総合相談窓口である豊岡北包括支援センターと情報を共有す



るため各委員との情報交換会も定期的を実施しています。

・高齢者宅を訪問し、交通事故防止・振り込め詐欺に注意・熱中症予防をお願いし、また敬老祝い金交付対象者の訪問等を行っています。

・小中学校と情報交換会を定期的に実施し、地域での見守りの充実に心がけています。

・各自自治会の行事（夏祭り・防災訓練・敬老会等）への参加協力・年一回の県外研修の実施・被災地や福祉先進地等の状況を研修するとともに委員間の結束を深めるために毎年宿泊研修を実施しています。

豊岡第一地区

豊岡第一地区民児協は往時の扇町屋宿として栄え、現在はおとろろう祭りの中心地名・町屋通りを挟んで霞川団地から向原団地までの9自治会約7千世帯を民生・児童委員29名、主任児童委員2名の31名で担当しています。

主な活動は、豊岡西包括支援センターと協力し合っており、9カ所ある小・中学校と連携して学校行事への参加や子どもたちの見守りを実施しています。又、県内外研修や毎月の定例会で行う事例発表や活動に対する悩みごと相談等で委員の研鑽に努めています。



(市内福祉施設「大樹」研修風景)

豊岡第一民児協の特徴としては、各委員の民生活動への意識と意欲が高く、多くの委員が個人として地域の福祉活動に参画していることです。社協や包括支援センターと協力し、高齢者サロン・外国人サロン・オレンジカフェ・子どもの居場所づくりとしての広場、一人暮らし高齢者への配食、フードバンク活動や音楽を通して心豊かな生活を望める様に多岐にわたって活動しています。

又、今年度から豊岡第一近隣助け合い活動推進会が立ち上げた「お助け隊」にもボランティアとして協力しています。

※民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手として活動しておりますので皆様どうぞお気軽にご相談ください

編集後記

今年の2月に、水泳の池江璃花子選手の白血病が公表されました。東京オリンピックを目指していた最中で体調異変本人もショックだったと思います。

ニュースを聞き、全国から献血や骨髓バンクのドナー登録など応援が差し伸べられています。こうした支え合いの輪が広がっていくことを願います。

広報部会は「皆さんに読んでもらえる広報誌」を心がけ取り組んできました。

取材では関係者の方々の御協力に感謝申し上げます。12月より新たなメンバーでスタートします。

今後とも広報部会を宜しくお願います。

民児協だよりは、今年から6月は民生委員・児童委員と関係機関のみ、12月は入間市全戸配布となりました。



前広報部会長 山内修一記